



結核しずおか

28号2011年4月25日

発行

財団法人 結核予防会静岡県支部
〒420-0915

静岡市葵区南瀬名町6-20

TEL 054-261-2512

FAX 054-261-9474

Eメール tb-shizu@topaz.ocn.ne.jp

発行責任者 鈴木美行

印刷 明和印刷株式会社



巻頭言

平成22年8月に静岡県理事として着任し、この度、結核予防会静岡県支部の副支部長として就任いたしました。関係機関の皆様におかれましては、結核対策をはじめ、県の健康福祉行政に御理解、御協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

また、この3月に東北・関東を中心に発生しました未曾有の大地震により、犠牲となられた多くの方々に心からの哀悼の意を表しますとともに、被災され不自由な生活を強いられている皆様には、心よりお見舞い申し上げます。県においても、発災当日から、できる限りの人的及び物的支援を行っているところであり、御協力いただいている関係機関の皆様方にはこの場をお借りして、あらためてお礼申し上げます。

さて、県では、「富国有徳の理想郷“ふじのくに”づくり」を県政の基本理念に掲げ、皆様が住み慣れた地域で豊かに安心して暮らせる社会の実現を図るため、この2月に新たな総合計画を策定し、各種施策の推進に積極的に取り組むこととしております。この中で、医療人材の確保や医療機関の連携、高度専門医療等の提供を進めるとともに、医薬品の品質と安全性の確保や生活習慣病予防対策等、安心医療の提供と健康づくりを推進することとしています。

本県における結核登録患者数は、年々減少傾向ではあるものの、患者の半数以上を占める高齢者の結核や、働き盛り世代における結核の発見の遅れ、WHOにより高まん延国とされる国々からの外国人の流入による外国人患者割合の増など、問題が多様化・複雑化している状況にあります。

国においては、平成23年度から5年間の新たな対策方針を盛り込んだ「結核に関する特定感染症予防指針」の改正が予定されており、これを受けて、県においても、結核に対する正しい知識の普及や直接服薬確認治療（DOTS）の強化等、結核対策をより一層推進することにより、結核患者の早期発見や治療の完遂を目指してまいります。

今後も県民の皆様が安心して健やかに暮らすことができる“ふじのくに”を実現するため、関係の皆様方には、引き続き、御支援と御協力をお願い申し上げます。



静岡県理事

鶴田 憲一

高田薬局 & クレハ & SBSテレビ共同企画 クレハピンクリボンキャンペーン報告

- ◇イベント名称 / 高田薬局&クレハ&SBSテレビ共同企画
クレハピンクリボンキャンペーン
- ◇日時 / 2011年1月29日(土) 13:00~16:00
- ◇実施店舗 / ウィンダーランド 東新田店
- ◇主催 / 静岡新聞社・静岡放送
- ◇後援 / 静岡県、静岡市
- ◇協力 / 株式会社高田薬局、株式会社クレハ、あけぼの静岡、
静岡県対がん協会、財団法人結核予防会静岡県支部



キャンペーン告知(テレビ、新聞、高田薬局店頭)をご覧いただき、応募をいただいた方の中から抽選で30名様に、無料でマンモグラフィーを用いた乳がん検診を受けていただきました。応募数は合計70通。当選者30名のうち、実際の来場者は28名でした。今回はより検査の効果を上げるべく、30代以上の女性を対象としました。

また、乳がん検診のほか、あけぼの静岡様のご協力により触診の啓発活動も同時におこないました。触診の啓発活動は、あけぼの静岡様の指導のもと、触診用模型を実際に触っていただきながら、乳がんへの理解を深めてもらいました。今回のイベントに参加していただいた方には、クレラップや乳がん啓発冊子、ティッシュなどを無料配布しました。当選者の中には、初めて乳がん検診を受ける方が何人かいらっしゃいました。初めての検診なので不安な表情の方もいらっしゃいましたが、最後には「このようなイベントに参加できとても参考になった」との感想をいただきました。

今回のような形のイベントは、弊社にとって初めてのものでした。ご協力していただいた皆様のおかげでイベントは無事成功におわりました。今後もこのような活動を通じて、乳がんの理解促進、検診率の向上に貢献していきたいと考えております。

静岡新聞社・静岡放送
企画事業局 企画センター
田代智一



複十字シール募金にご協力 ありがとうございます。

平成22年度も結核をはじめ、その他胸の病気の制圧のために、複十字シール運動にご協力いただき誠にありがとうございました。皆様のあたたかい善意にささえられ目標を上回る実績を得ることができました。心から感謝申し上げますとともに、今年度も変わりないご協力をお願いいたします。

平成22年度実績報告

1,584万円

募金協力者御芳名 (敬省略・順不同です)

竹内弘明・植木陽子・中島美佐江・株式会社蔵屋鳴沢・海長寺・二宮文乃・土屋貞代・洞泉院・天理教本磐分教会・静居寺・コーチ株式会社・普賢院・龍豊院・株式会社佐野・臨濟寺・大久保順夫・有限会社多々良新聞店・レシャード医院・柳原社会保険労務士事務所・貴庵寺・御門台不動産・医療法人社団家山鈴木医院・渡辺政一・有限会社二の岡フーズ・佛源寺・郡定寺・宗徳寺・佐野吉秀・株式会社NBNコンサルティング・東嶋功・大石純正・帰一寺・有限会社丸誠石材・甘露寺・蓮生寺・三晃建設株式会社・静岡県立静岡北特別支援学校・西淋寺・庵原郡医師会・水野矩子・芝田工業株式会社・静岡浅間神社・城北保育園・高部幸子・株式会社ニッシン・成因寺・拙博之・十輪寺・洞雲寺・八木康彦・和田健・吉川胃腸科外科医院・有限会社平岡工業所・国東幸男

※多数の方々より善意をいただきありがとうございました。
大変恐縮ですが、多額の方のみの記載とさせていただきます。



平成23年度 複十字シールのご紹介

安野光雅先生による10回目のデザインです。今回は「外国のあそび」がテーマとなっています。

よく見ると、うさぎのパペットには、「卯」の文字が描かれていてユーモアが感じられます。その他には、子供が縄跳びをしたり、フラフープ、バトミントン、木馬、けん玉などに興じる姿が描かれています。また、衣装のチェック柄、個性的な髪型にも文化、気候風土の違いが忍ばれます。

今年度も皆様のお手元からこのシールを世界中に広めていただきますようご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。

DOUBLE-BARRED CROSS SEALS 2011
JAPAN ANTI-TUBERCULOSIS ASSOCIATION



† 複十字シール
みんなの力で結核やがんをなくすために
複十字シールは世界共通の結核予防運動のシンボルです

デザイン: 安野光雅

† 公益財団法人結核予防会



伊豆市結核予防婦人会活動について



伊豆市は平成16年に旧修善寺町、中伊豆町、天城湯ヶ島町、土肥町が合併してできた市で人口3万5千人、高齢化率30・4%、の静かなこじんまりした市です。

伊豆市の結核予防婦人会は、各地区で推薦された保健委員が兼ねており、2年の任期で98名おります。平均年齢もやや高いかなと思われます。

保健委員会の目的は、健康づくりリーダーを養成することで、身近な目標として健康に興味をもち、研修等で得たことを、自分の健康、家族の健康、地域の健康づくりに活かしていくことです。年に5回の研修と地域で行われる防災訓練、サロン、健康相談等に参加していただいております。

中でも結核予防婦人会の複十字シール募金運動は、会員が一同に会し健康づくりを啓発するやりがいのある大切な活動になっていますが、結核撲滅といっても会員の皆様の結核に対する意識が薄いのが現状です。まず自分たちが結核を理解する必要があります。毎年4月の総会時に結核予防婦人会の役割について事務局が説明し、3月の静岡リーダー研修に参加した支部長が役員会等で復命するなどして会員の意識を高めます。その後9月～10月にかけて支部長、役員を中心に募金活動を行います。健康福祉祭り等での呼びかけが主ですが、「結核撲滅にご協力ください」と大声を張り上げてお祭りの会場をねり歩き前年度よりよい結果を出そうと参加者一同がはりきります。

22年度募金額は58,010円でした。(20年度44,322円・21年度52,760円)

毎年、少ないながら、募金額が増えており参加してくれた会員の皆様も一緒にがんばった達成感に包まれます。

また使用済み切手収集も少しずつですが意識されるようになってきました。22年度は使用済み切手収集の成績優良団体で表彰を受けました。

23年度は新会員が半数以上を占めるため、知識の普及、啓発において4月の総会時に公益財団法人結核予防会 成瀬匡則先生の講演を予定しています。

保健委員会も結核予防婦人会も歴史が浅く2年で交代することや、仕事を持ちなかなか参加できないでいる会員も多くいるため活発な活動とまでいかないのですが、地道に活動し経験者が増えることで伊豆市全体の健康意識の底上げがはかれるとよいと思います。

静岡県結核予防婦人会 伊豆市支部長 唐澤伸子



平成22年度財団法人結核予防会静岡県支部長表彰

平成22年度財団法人結核予防会静岡県支部長表彰は、次の方が受賞されました。

結核予防事業功労者（個人）

粉川 隆夫 様（浜松市保健所推薦）



平成22年度静岡県結核予防婦人会長表彰

平成22年度静岡県結核予防婦人会長表彰は、次の方々が受賞されました。

複十字シール募金成績優良団体

富士宮支部 芝川地区 様
御殿場支部 印野地区 様
御殿場支部 高根地区 様

結核対策及び公衆衛生思想 普及啓発活動優良団体

静岡県結核予防婦人会 伊東支部 様

使用済み切手収集成績優良団体

熱海支部 様 小山支部 様
伊豆市支部 様 御殿場支部 様
沼津支部 様 富士支部 様
駿東支部 様 焼津支部 様
裾野支部 様 浜松市支部 様

結核予防功労者

退任本部役員

監 事 寺島みゆき様

前任支部長

裾野支部 林 松代様



みなさまのご支援ご協力に
心より感謝申し上げます

なぜ・なぜ・なあに



東北地方太平洋沖地震(M9.0)において、東京電力福島第一原子力発電所の事故で、よくマイクロシーベルト(μSv)と報道されていますが、難しくわかりません。

生物が放射線によって被曝した場合、中性子線や γ (ガンマ)線などの放射線が放出されますが、放射線の種類によって損傷が違います。その放射線の種類による違いを加味して、同じ数値なら同じ生物学的影響を与えるようにしたものが、線量当量(せんりょうとうりょう)というものです。丁度、体重を「kg」で量るのと同じような単位とってください。その線量当量の単位がシーベルト(Sievert:記号Sv)です。つまりSvは放射線の人体への影響を表す単位で μ (マイクロ)は1mの100万分の1の意味です。したがって、線量当量というのは相対的な危険度の重み付けで“こわさの加減”を表しているともいえます。

日本人の一年間に被曝する自然放射線の線量は平均で2.4mSv(ミリシーベルト)=2400 μSv です。例えば胸部レントゲンは0.2mSv/回、胃部レントゲンは約4mSv/回程度です。

あと、Gy(グレイ)という単位もよく使われますが、Gyは吸収線量と呼ばれるものの単位で、物質が放射線から与えられるエネルギーを表します。



診療放射線技師

榊原智子

(自然放射線による人体の被曝線量は1年間におよそ2.4mSvです)

出版のご案内

結核を中心とする疾病の予防に関する正しい知識を広く県民の方に普及するために、公益財団法人結核予防会が編集・出版している専門書やパンフレットなどの案内をしております。



●「保健師看護師の結核展望96号」 平成23年3月発行!!

今回の特集 感染症法での結核対策 3年を経過して

- ・接触者健診の強化に向けて
- ・活動性分類とその他の改正について
- ・院内感染対策について

追悼：故青木正和先生

- ・シリーズDOTSの取り組み
- ・外国人の結核
- ・随筆 駒込病院院長佐々木常雄先生 ほか
- ・新コーナー 結核とたばこ、いま読んでおきたい文献紹介など

B5判104頁 定価1,995円(税込)

◆好評発売中◆

✿平成22年改訂版

●「結核の接触者健康診断の手引きとその解説」 「結核の接触者健診Q&A」付

改訂ポイント

- ・QFT検査の適用や結果の解釈などの変更
- ・適用年齢上限撤廃/QFT-3Gの導入/小児への適用と留意点
- ・航空機内および海外等での対応の追加
- ・QFTを実施しない場合の健診スケジュール例の追加
- ・結核菌分子疫学調査の法的根拠や留意点等の追加

A4判106頁 定価2,730円(税込) ISBN 978-4-87451-266-1

✿平成22年改訂版

●「結核でも心配しないで」 定価241円(税込) ISBN978-4-87451-267-8



他にもご用意しております。書籍の注文および出版案内をご希望の方は、(財)結核予防会静岡県支部までお問合せ下さい。

TEL: 054-261-2512 FAX: 054-261-9474

HPでは最新情報を掲載しております。どうぞご利用ください。

HP: <http://www.jatahq.org>



このたびの東北地方太平洋沖地震により、お亡くなりになられた方々に心よりお悔やみ申し上げますとともに、被災地の皆様に謹んでお見舞い申し上げます。一日も早い復興を、職員一同、お祈り申し上げます。